

提案団体名：京阪バス株式会社、日本ユニシス株式会社

○提案内容

技術の概要・実績等			技術の分野
解決策	技術(サービス)の概要	実績	6
<p>①移動の目的(買い物、通院等)と交通をセットにして利用者に特典を提示し、セット利用を促し、地域振興と地域交通維持を目指す。 これを実現するMaaSを企画中。右記の技術(サービス)を組み合わせることで実現可能。</p>	<p>【スマートキャンペーン】 メーカーのキャンペーン情報を流通小売業の会員サイトやスマホアプリに配信することで店舗への送客を促し、対象商品の購買を促進するキャンペーン情報配信サービス。このサービスに、地域内の多くの事業者や交通事業者が参加することで、MaaSを実現する。</p>	<p>イズミ様(中国・四国・九州:188店舗) オークワ様(近畿・中部:160店舗) スギ薬局様(関東・中部・関西:1,000店舗) いなげや様(関東地域:137店舗)等</p>	6
	<p>【観光ビジネスプラットフォーム Japan Local City Card】 観光施設や公共交通、店舗などが参画するデジタル周遊パスを販売し、観光施設などにパス(スマホ画面)を見せるだけで利用できる仕組みや、店舗において利用者特典付きのキャッシュレス決済が行えるよう整備を行い「スマホ一つで」観光客がストレスレスで周遊できる環境を提供する。これを観光客だけでなく地域住民も対象として提供することで、MaaSを実現する。</p>	<p>九州全域、山陰地域、喜多方市等で観光客の周遊を促進すると同時に、観光客の動向も分析している。</p>	6
	<p>【社会課題に挑むデータxAI「Rinza」】 企業内に存在するさまざまなデータとAIを組み合わせることで、デジタルトランスフォーメーションを実現し、企業の課題解決を通じて、社会課題の解決を目指すためのサービス体系。 地域事業者や交通事業者内で蓄積しているデータとAIを活用し、MaaSを実現する。</p>	<p>多種多様な業界で多くの実績あり。 詳細は参考資料に掲載。</p>	6
	<p>【オープンデータを活用した地域活性化モデル】 行政情報というオープンデータを活用し、地域の活性化を実現するモデル。 MaaSでは、オープンデータも分析することで、より効果的な特典を利用者に提示する。</p>	<p>横浜市等</p>	6
<p>②QR乗車券等の、より低コストな運賃精算手段を採用する。</p>	<p>【観光ビジネスプラットフォーム Japan Local City Card】 観光施設や公共交通、店舗などが参画するデジタル周遊パスを販売し、観光施設などにパス(スマホ画面)を見せるだけで利用できる仕組みや、店舗において利用者特典付きのキャッシュレス決済が行えるよう整備を行い「スマホ一つで」観光客がストレスレスで周遊できる環境を提供する。 QR決済機能を備えているため、現金やICよりも低コストで運賃清算が可能。</p>	<p>九州全域、山陰地域、喜多方市等で観光客の周遊を促進すると同時に、観光客の動向も分析している。</p>	6

	<p>【ギフトカードモール】</p> <p>コンビニやカード発行元企業との共創でギフトカードモール事業を展開。レジを通してはじめてアクティベートされる新方式のプリペイドカードを利用。</p> <p>バス事業者の定期券はコストがネックとなりIC化されていないことも多い。その場合は、定期券発行コスト(人件費)も課題となっている。上記新方式のカードで定期券を発行することで課題解決の一助となりえる。</p>	コンビニエンスストア各社、駅中の売店各社、ドラッグストア各社等	6
③OD情報や走行情報を分析することによる、路線最適化などの業務効率化を図る。	<p>【無事故プログラムDR】</p> <p>ドライブレコーダーの法人向けクラウドサービス。危険運転等の従業員の運転状況を管理者が把握しフォローすることで事故を軽減できている。このサービスを提供する中で蓄積した、運転状況の把握や分析のノウハウを活用し、公共交通の業務効率化を図っていく。</p>	1,200社以上、5万台以上。	6
	<p>【社会課題に挑むデータxAI「Rinza」】</p> <p>企業内に存在するさまざまなデータとAIを組み合わせることで、デジタルトランスフォーメーションを実現し、企業の課題解決を通じて、社会課題の解決を目指すためのサービス体系。</p> <p>地域事業者や交通事業者内で蓄積しているデータとAIを活用し、業務効率化を図っていく。</p>	多種多様な業界で多くの実績あり。詳細は参考資料に掲載。	6
	<p>【オープンデータを活用した地域活性化モデル】</p> <p>行政情報というオープンデータを活用し、地域の活性化を実現するモデル。</p> <p>オープンデータも分析することで、より効果的な分析結果を得る。</p>	横浜市等	6
④利便性の高いオンデマンドバスサービス	<p>【オンデマンドバスサービス「SWAT」】</p> <p>シンガポール発祥のミニバスのライドシェアリングサービス。独自のアルゴリズムによりオンデマンドによるリアルタイム配車を実現。</p>	シンガポール国内で通勤客向けにサービス提供中、公共バスのオンデマンド化実証実験にて技術提供中。中国、ベトナム、オーストラリア、日本に海外展開予定。	6

(2)(1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ  
 ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>公共交通の維持発展が求められている。</p> <p>○自治体の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の交通手段の確保</li> <li>・観光客の二次交通確保</li> </ul> <p>等</p> <p>○公共交通事業者の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転手の不足・高齢化</li> <li>・人口減少、点在による収益悪化</li> <li>・路線の縮小</li> </ul> <p>等</p>	ア、オ
(3)その他	

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
公共第二事業部 ビジネス三部	中沢亮太	050-3132-7488	ryota.nakazawa@unisys.co.jp